

はじめに

地球温暖化をはじめとした地球規模で進行しつつある環境問題は、全人類を挙げて取り組むべき重要かつ緊急な課題であり、私たち一人ひとりに、世界の模範となる意識の高さが求められていると強く感じております。



わが国では、世界最高水準にある環境技術や公害克服の経験を活かし、世界的な環境保全への取り組みを先導していくために、平成19年6月、「21世紀環境立国戦略」を策定し、国内外あげて取り組むべき環境政策の方向を明示し、世界の発展と繁栄に貢献していくこととなりました。

本市では本年4月に『循環型都市八王子プラン - ごみゼロ社会への挑戦 - 』と題したごみ処理基本計画を策定し、市民・事業者・市が協働して循環型都市八王子の構築をめざすことといたしました。

あわせて、50万人規模の自治体では初となる、自治体向けの環境マネジメントシステム『環境自治体スタンダードLAS-E（ラス・イー）』を導入し、一事業者としても環境配慮への取り組みを率先して進めているところです。

また、地域での環境保全への取り組みも活発に行われており、市内6地区の環境市民会議や町会・自治会など、様々な市民組織の方々のご尽力により、身近な川や里山などの保全活動、体験講座など地域に密着した活動が積極的に展開されており、今後の更なる取り組みを大いに期待いたしております。

この「環境白書 2007」を通して、市民・事業者の皆さんと協働して守り育ててきた成果を確認し、今後の更なる環境保全への取り組みに活用していただくことを切に願っております。

平成19年9月

八王子市長

黒須隆一